

半定量イオン試験紙 ニッケル (MN91305)

取扱説明書

国内総発売元

株式会社 アイシス

大阪市東淀川区西淡路1-1-36

TEL:06-6325-1406 FAX:06-6328-8995

ご使用前に必ず熟読いただき正しく使用してください。不注意/誤った使用方法・保管方法による不具合、カタログおよび下記《取扱上の注意》を含めた各種注意事項を順守されていない場合は責任および保証の一切を負いません。

《取扱上の注意》

1. 試験紙に触れる際は必ず研究用手袋を装着してください。指示薬により皮膚に炎症を起こす恐れがあります。
2. 測定後の試験紙の変色は、時間経過によって変化する場合があります。

《使用法》

1. 必要数の試験紙をアルミ容器から取り出し、直ちに容器の栓を閉めます。
2. pH2~7 に調整したサンプル溶液に試験紙を1秒間浸した後、取り出します。
3. 試験紙に付いた余分な液を取り除き、20秒後に測定部を容器外側のカラースケールと比較/照合し判定します。
4. ニッケルイオン (Ni^{2+}) の存在で測定部は白色から赤色に変色します。

《妨害》

- 測定部が黄褐色に変色した場合はコバルトイオン (Co^{2+}) による妨害を示します。これは使用済試験紙を希アンモニア溶液に数分間浸し除去します。
注意：上記の希アンモニア溶液に浸す際に、2価鉄イオン (Fe^{2+}) が含まれているとニッケルイオンと同様に赤色に変色します。この場合、必要に応じて2価鉄イオンの存在試験を行い、存在が認められたら硝酸で3価鉄イオン (Fe^{3+}) に酸化させ妨害を除去します。
- 測定部が灰色に変色した場合は1価水銀イオン (Hg^+) による妨害を示します。これは5~10mLのサンプル溶液に耳かき1杯の塩化ナトリウムを加えて除去します。
- pH2未満の強酸性溶液の場合は酢酸ナトリウムを加えてpH2~7に調整します。

《後始末》

使用後の試験紙や廃液は絶対に下水へ流さず、各自治体の条例に従い廃棄してください。

《保管》

日光および高温多湿に晒さず乾燥した+30℃以下の冷暗場所に保管し、開封後は使用期限に関わらず速やかに使用してください。